

あつちの取り組み紹介

特発性正常圧水頭症(iNPH)

高齢者の歩行障害、排尿機能障害、認知機能障害は、加齢現象で済まされがちです。「病気ではないか・・・」と疑ってみることが大切です。当院に御相談ください。

検査の結果、正常圧水頭症と診断され治療の適応がある場合、患者さんへの負担の少ない手術でお役に立ちます。また、適応がない患者さんに対しても、今後の療養に役立つ様に検査結果をかかりつけ医と共有します。

厚地脳神経外科病院
正常圧水頭症センター長

川原 隆



厚地脳神経外科病院

〒892-0842 鹿児島市東千石町4-13

TEL:099-226-1231 FAX:099-226-1553

専門外来（予約診療）

専門外来は予約制です。

予約受付 099-226-1231
月～土 9時-18時

水頭症外来	（川原隆医師）	月曜：	午後
もの忘れ外来	（厚地正道医師）	火曜：	午後
		日曜：	
てんかん外来	（鹿大医師）	土曜：	午前
脊椎脊髄外来	（鹿大医師）	土曜：	午後
頭痛外来	（森山一洋医師）	土曜：	午前・午後

病院概要

- ・理事長 厚地 正道
- ・院長 高崎 孝二
- ・診療科
 - 脳神経経外科
 - 脳神経内科
 - リハビリテーション科
 - 放射線科

- ・外来診療 月曜日～土曜日
受付
 - （午前） 8:00-11:00
 - （午後） 11:00-16:00
- 診療時間
 - （午前） 9:00-13:00
 - （午後） 14:00-18:00



Q:特発性正常圧水頭症の、診断・治療の流れは？

A:下のような流れになります。

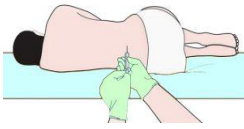
外来受診

画像診断のほか、歩行状態の観察や精神・心理テストなどを基に診断と治療の方向性決めを行います。

他院入院中の患者様等につきましては、紹介状と画像にて対応いたします。

検査入院

基本的に2泊3日の検査(タップテスト)入院となります。背中から髄液を抜き髄液排除前後の反応を確認、また退院後の生活の様子等も踏まえ手術適応の検討を行います。



髄液を抜くことで変化があるようであれば、手術の検討を行います。

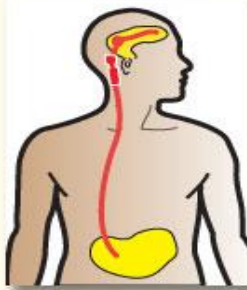
手術入院

シャント手術目的の入院(通常10日前後)となります。手術後リハビリ・シャント圧検討を行い、抜糸後退院となります。

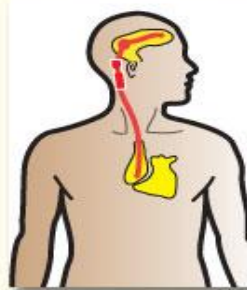
当院は年間平均87件の手術実績があり、以下がその特徴です。

- ・より低侵襲なL-Pシャント術の積極的な採用
- ・短時間の手術(平均50分):局所麻酔による患者様への負担軽減
- ・術後のシャント脱落を防ぐ固定方法(川原法)の採用

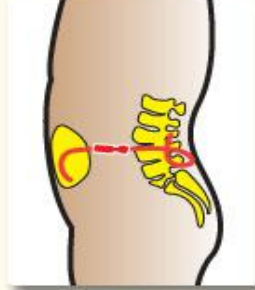
脳室-腹腔シャント
(V-P シャント)



脳室-心房シャント
(V-A シャント)



腰椎-腹腔シャント
(L-P シャント)



※患者様の状態によっては、V-AまたはV-Pシャントを行います。

退院後

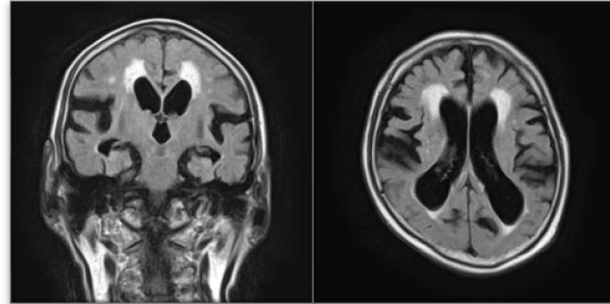
退院後はかかりつけ医やケアマネジャーと連携しながら、日常生活リハビリや介護保険でのリハビリ等を活用していきます。また、1,3,6,12ヶ月,以降1年ごとに外来にてフォローを行います。

シャントの効果を引き出すためにもリハビリは重要です。

特発性正常圧水頭症(iNPH)

Q:特発性正常圧水頭症(iNPH)とは？

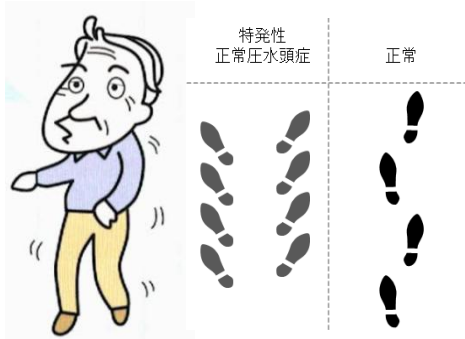
A:加齢に伴い、脳脊髄液の吸収が悪くなり、脳室やくも膜下腔に脳脊髄液が増える疾患です。
多くは脳室の拡大や脳溝の不均衡な開大を認めます。



Q:どのような症状がでるの？

A:以下の**三大症状**があります。

歩行障害



- ◇左右に足が開く
- ◇歩幅が狭い
- ◇すり足で歩く

排尿機能障害



- ◇切迫性の失禁
- ◇頻尿傾向

認知機能障害



- ◇集中力・注意力の低下

Q:受診をしたいのですがどのようにすればいい？

A:全体的な流れは右ページをご覧ください。
まずは水頭症専門医の外来受診からとなります。
一部、予約診療の箇所もあるのでご注意ください。

予約窓口(外来) TEL:099-226-1231
月曜～土曜の9時-18時

※1 水頭症外来(予約制)
※2 ものわすれ外来(予約制)

	診察(受付時間)	月	火	水	木	金	土
午前	9:00-13:00 (8:00-11:00)		川原			厚地(正) 川原	
午後	14:00-18:00 (11:00-16:00)	川原 ※1	厚地(正)※2 川原(予約枠)	厚地(正)		厚地(正)	